



売所をする方、商売をする方などが入るテナント街を建ててはいかがでしょうか。そこでは、商売人と商売人、商売人とお客様といった、たくさんの方の繋がりが生まれてきます。それが地域全体の繋がりととなり、地域の活性化にも繋がっていくのではないかと思います。

山本 つくばみらい市に住んでいて、確かにみらい平駅周辺は開発が進み、便利かもしれません。しかし、私の住んでいる地区は、はつきり言って便利ではありません。私は商売柄、お年寄りの方と接する機会が多いです。お茶の相手をしてもらいながら聞くのが、バスがなくて困っている、すごく不便だということ。病院に行くにも2キロくらい歩いて幹線道路に出

て、そこからバスに乗らなければなりません。市として、もう少し細かくバスなどを廻していただけると、困っているお年寄りの方が助かるのではないかと思います。

小田島 車でいろんなところを走っていると、道路に花が植えられてあって、とてもきれいなところがあります。しかし、市内

「自分のこころ」をしつかり持つ

にそのようなところがあるかと考えると、思い浮かびません。私は、自然が大好きなので、市内にもそのようなところが欲しいです。新しく道路を造ったけれど、草しか生えていないというのではなく、せつかくできた新しい道路にきれいな花が植えてあれば、そこを散歩する人も増えるはずですよ。

市長 本日は、皆さんの率直なご意見、ご提案をいただきまして、本当にありがとうございます。ぜひ、今後の市政運営の参考にさせていただきますと思います。皆さんは、それぞれの業種で、若くしてリーダーシップを取っていくことは大変なことだと思います。私も会

社経営をしてみました。社経営というのは、すごく面白いと思います。なぜなら、会社が大きくなるということは、自分の夢にどんどん近づいていき、非常にやりがいを感じられるからです。今、会社を経営してきたノウハウを、民間の発想、市民の感覚ということで、市役所に取り入れてい

ます。皆さんも取り入れていってほしいです。管理サイクル、「プラン（計画して）、ドゥ（実行して）、シー（見直して）」、「アクション（また計画する）」、「これを職員に植え付けています。それから3M主義、「無理」「無駄」「ムラ」を無くす」とも植え付けています。私は、会議で結論が出たことを、あの決断は間違えたなと思うと、すぐにもう一度会議をし、改めています。会社経営でもそういうことも必要だと思えます。臨機応変に経営するという面も必要だと思えます。しかし、「自分の心」はしっかりと持っていないければなりません。自分は、こういう方向性で行くんだ、自分のベクトルは常に決めておくことが必要です。それからやはり、皆さんは20代でチャレンジしたからこそ、今があるわけで、そのチャレンジ精神というのはこれから持ち続けてください。皆さんのような若い世代の仲間が、力を合わせると大きなことができると思えます。同世代が力を合わせ、つくばみらい市を未来に誇れるまちにしたいです。私は、夢を持ちたいと思っています。昨年11月には、商工会の青年部の方に集まっていたいただき、多くのご意見をいただきました。本当に若い皆さんの意見が参考になりました。ぜひ皆さんと協力してやっていきたいと思っています。最後に、皆さんはお子さん

もお持ちの父親でもあります。父親として、また若きリーダーとして、みらいを担う子どもたちのためにも、この社会をどのようにするかということも、頭の片隅で考えていただきたいと思います。皆さんの今年一年のご活躍をお祈りし、私からのお礼の言葉とさせていただきます。



11月21日に行われた市商工会青年部との『市長と“みらい”を語る集い』